

こんにちは。こんばんは。

サークル「天下茶屋」の篠田さやかです。

このたびは、当サークルの音声作品第二弾「遊郭で見つけた京都弁の甘々天使」をお手に取っていただき、ありがとうございます！

「遊郭」というのは、言わずと知れた大阪某所の遊郭をイメージしています。新地とも言われています。あの場所が私にとっては「夢のような花園」に思えるのです。

接客するのは人間なので、必ずそこには「心」があります。その「心」の部分を描きながら、なおかつ実用性の高いドラマが作れたら……と思ってシナリオを書きました。

今回は関西弁ネイティブの声優様を起用しています。前作の「遊郭に来てから大阪弁がうつった」ヒロインとはまた少し違った関西弁（京都弁）を楽しめるかと思います。

私は大阪には縁もゆかりもないのですが、なぜか関西弁に親しみを覚え、今では大阪に住んでいます。そのくらい好きです。遊郭も早朝に散歩をします。風情があって大好きな街です。

さて、今作ではヒロインが主人公に恋をしてしまい、特別なプレイを楽しむことができます。ヒロインにとって一生で一回の「はじめて」を主人公にあげます。その心意気と「初物」のおいしさを味わい尽くして欲しいと思います。

今作のパッケージも、前作と同じく Kou 先生に依頼しました。

私の脳内からまだ出てきていないイメージのかけらを集めて、最高一枚に仕上げてくださる Kou 先生には前回は、今回も助けられました。（絵が仕上がった時点で、後戻りできない感じになるのです）Kou 先生には今回も大感謝です。

また、今作は歌も入れました。作詞作曲させていただきましたが、遊郭のイメージがあったので、すぐにスルッと歌詞ができたことを今でも覚えています。（30分くらいで書きました）

声優様がレコーディングブースで何度も歌ってくださったこと。記憶に焼き付いています。

「もう1回録りたいです」と言って下さり、最高のテイクを録ってくれたこと……

感謝しかありません。

本編の収録の後、スタジオを移動して歌を録るというハードスケジュールなのに、全力で頑張ってくださった姿を思い出すと、感謝で胸がいっぱいになります。

作品作りは一人ではできません。今回もたくさんの方々に協力していただきました。

絵師様、声優様、音声編集様、デザイナー様……

そして収録スタジオの方、歌録りのスタジオの方々……

また、身近なクリエイターの方で、常に草案や迷いに対し、私の相談に乗ってくれた方。

そして何より。

作品の話をして Twitter でした際「楽しみにしているよ！」と声をかけてくださる皆さま……

いつも♡をつけて、作品を楽しみにしている気持ちを伝えてくださる皆さま……

心の支えになっています。本当にありがとうございます。

皆さまの応援が無かったら、2 作目は絶対に出なかったです。

作品作りには、シナリオを書くのとはまた違う様々な調整が必要になります。

それを「大変だから」とやめてしまうのではなく、こうして 2 作目を作れたのは、皆さまの暖かい応援のおかげです。ありがとうございます。

当サークルはこれからも活動を続けていきます。

「遊郭」シリーズに留まらず、次回作は純愛モノを作る予定でおります。（もう声優様に依頼済みです。必ず作品を出します！）

ところで、純愛って、なんでしょうね？

私にとっては、遊郭中で行われる自由恋愛も「純愛」にカテゴライズされます。濁りのない愛情であればそれは、純愛と呼んで良いのではないかと思います。

今作のヒロイン、莉唯那（りいな）は、彼女の持つ愛情すべてを主人公にぶつけてきます。どうか、すべて受け止めてあげてください。

何度かお店に通ったら……「好き」って言ってあげてください。

別れ際にギュッと抱きしめてあげてください。

莉唯那のことを愛してくれたら、私はとても嬉しいです。

それでは、本編をお楽しみください……！